

令和 7 年度主要施策（予算への意見）

◎ 学校教育の充実

1. 学校教育の充実

学校においては、安心した学校生活や充実した教育を行うため、教材・教具などの物品購入やスクールバス運行、スキー授業のインストラクターなどの業務委託、及び暖房費や光熱水費など、多くの経費が必要ですが、物価や人件費の高騰からこれらの経費が増える状況にあり、特にスクールバス運行や路線バスの定期券代などは大幅な値上がりとなっています。

このような状況ではありますが、未来を担う子どもたちへの教育は、人口減少が進む深川市においてこれまで以上に重要になりますことから、これまでどおりの学校教育活動を行うことが必要です。

2. 学校運営の体制整備

近年、保護者の意向等により特別支援学級での支援が必要な児童生徒が通常学級に在籍しているほか、さまざまな場面において介助等が必要となる児童生徒が増加していることで教師の負担も増えています。多様な児童生徒に対する安全確保及び学力向上等のための支援や介助に加え、他の児童生徒に対する理解促進等を図るためには、複数の職員で支援する体制が重要であることから、「特別支援教育支援員」の配置の拡充が必要です。

3. 教育の情報化への対応

子どもたちの予測不可能な未来で生きる力を育むためには、情報活用能力の育成や学習指導要領にある主体的・対話的で深い学びの実践が必要であり、これに効果的に取り組むためには、既に整備している I C T 環境を維持することが重要です。指導者用デジタル教科書、デジタルドリルや授業支援システムといった教育環境の整備を継続するとともに、児童生徒が使用するタブレット端末の更新や安定した学校ネットワーク回線の整備が必要です。

また、全国的な課題として教職員の働き方改革が求められており、国は対策の一つとして校務 D X を掲げています。このことを受けて本市においても、学校運営の効率化や教育の質の向上を実現するため、校務系と学習系で使用している教職員用端末の 1 台化、クラウドサービスの活用など、日々の業務を改善する環境の整備が必要となっています。

このほか、教育の情報化の推進には、I C T 支援員の継続配置のほか、最新の状況の研修等が必要なため、外部人材による研修などの教職員への支援体制の継続が、欠かせません。

4. 学校施設の整備

学校施設は、児童生徒が学校生活の大部分を過ごす大切な教育環境であり、夜間の学校開放や災害時の避難所等も含め安全・安心で健康的に過ごせることが求められます。

一已中学校では、経年によりボイラーが不調であるとともに、床下給湯配管の腐食が原因と考えられる赤水が発生していることから、現在、給湯の使用を制限しているため、ボイラーと給湯配管の改修が必要です。

一已小学校及び一已中学校の体育館では、床面ウレタン塗装の劣化が進んでおり、ささくれによる事故が懸念されることから、児童生徒をはじめとする利用者の安全を確保するため、床面の塗替えが必要です。

学校敷地内における樹木について、倒木の危険性が高いものや、樹木の成長により周囲

への障がいとなるものがあるため、児童生徒の安全確保や地域住民からの苦情への対応として、伐採や剪定などの対応が必要です。

5. 学校給食費の負担軽減

学校給食費については、令和5年度は4月から7月の4か月間を、令和6年度は4月から9月の6か月間を無償とし、子どもの健やかな成長を支えるとともに保護者の負担軽減を図り、子育てを支援しているところです。

令和7年度については、近隣町の完全無償化の実施状況も踏まえ、本市においても学校給食費の完全無償化が急務です。

◎ 社会教育、芸術・文化、スポーツの振興

1. スポーツ施設の整備

総合体育館などのスポーツ施設は、老朽化により修繕が必要な部分や、更新が必要な備品などが多数あります。

各施設を安全、安心、快適に利用できるよう計画的な整備・更新が必要です。

(対策が必要な各施設の状況の一例)

- ①総合体育館：メイン・サブアリーナ床面の凹凸修繕、武道場側ボイラー修繕
- ②陸上競技場：3種公認検定更新に向けたウレタン舗装等の改修と必備品の整備、写真判定塔の安全対策、競技場周辺ランニングコースの改修
- ③温水プール：施設雨漏り対策や集合シャワーやろ過装置など衛生設備等の不具合の改修、コースロープなどの各種備品の更新
- ④桜山パワーアップロード：専門業者による定期的なメンテナンスの継続
- ⑤パークゴルフ場：リバーサイドパークゴルフ場の雨水対策

2. 社会教育施設の整備

中央公民館の代替施設となる複合施設の整備について、生涯学習機能を担うために必要な設備や、設置目的に則したより良い管理方法について、関係所管との十分な検討が必要です。

また、文化交流ホールみ・らいは建設後20年以上が経過しています。近隣でも舞台の吊物装置の落下事故が発生しておりますが、今年8月には、み・らいにおいても引割幕が落下する事故が発生しておりますので、今後も施設を安心して利用できるよう、計画的な修繕による維持管理が必要です。

3. 合宿招致の推進

本市での文化・スポーツ合宿を推進するために積極的な招致施策の継続が必要です。

また、夏のスポーツ合宿でエフパシオを利用する多くのチームから、近年の30℃以上の真夏日が続く気候により、選手の睡眠や食欲などの体調管理面で影響が出ているとの声が届いています。本市のトレーニング環境は高い水準にあると思いますが、継続して本市で合宿を行っていただくためには、トレーニング環境だけではなく、滞在環境の魅力を高めることも不可欠ですので、エフパシオにエアコンを設置することが必要です。

4. 芸術・文化活動の推進

市民が優れた芸術・文化に触れる機会を増やすため、アウトリーチ事業と各種公演事業の拡充や、市民自らが企画・招聘する機会を後押しする施策の推進が必要です。